

校長短信

H28.5.10

No. 1

つれづれなるままに、大柿高校の日常を
記す。校長のわがまま通信、本日発行。



四月六日(水)朝、
就任式早々「あいさつは、いつでもどこでもだれにでも、何度でも！」と叫び、いきなり「校歌を3番まで覚えなさい」と進級も卒業もない」と校歌指導をしました。生徒の皆さんはポカンとしていましたね。さぞ「変な校長が来たなあ」いや「変なオッサンやなあ」と仰天したでしょう。それは先生方も同じかな…

毎朝学校前の大原交差点に立つて道行く人と車にあいさつをしています。小学生は「おはようございます」と大きな声で気持ちよくあいさつしてくれます。(皆さんも小学生の頃はこんな風にかわいらしくあいさつしてたんでしょよね。)ドライバーさんは変なオジサンが突然頭を下げるものだからビックリされるようです。会釈を返してくださる方も増えてきました。でも…脇見運転をなさらぬよう、無視して

くだつて結構です。八時を過ぎるとやつと高校生も登校してきます。日を追ってあいさつする人も増え、大分身だしなみも整ってきました。

四月のある晴れた日、3年生が畑作業をしていました。服装は結構バラバラですが、みんないい笑顔で汗を流していました。あとで作品の「春キャベツ」をいただきました。甘くて柔らかくて大変おいしゅうございました。3年生諸君、ありがとうございます！

四月二八日(木)には防災避難訓練が行われました。江田島市消防署の方から「前回より私語がなくなりきびきび動いていました」と褒めいただきました。消防署の皆様、お忙しいなか御指導いただき、本当にありがとうございます。また、「助かるためには何をすればよいか」自分で考えて行動する…これもアクティブラーニングですね。

さて、今年度から始めたことがいくつかあります。その一つが火曜日朝の全校朝礼です。毎週順番に、校長はじめ先生方すべてが喋ります。堅苦しい話でなくていい。い

い話でなくてもいい。等身大の話で結構です。先生方が一巡したら、生徒の皆さんにも順番に喋ってもらいます。ノー原稿で、できれば笑いを取ってください。度胸とプレゼン能力が身に付きます。その力は面接試験など、今後の長い人生においてきつと自分を助けてくれます。

オープンスクールの実施、体育祭の復活…やりたいことは目白押しです。まずは「しつこいほどのあいさつ」「3番まで校歌の暗譜」「3D(でも・だつて・どうせ)の克服」を根気強く続けましょう。生徒・教職員の全員が「大柿高校存続のために、いま自分は何をすればいいのか」を自ら考え自ら行動しましょう。それが「大柿高校版 学びの変革アクションプラン」なのです。今年江田島市の中3生は一五四名です。その二割が来てくれたら学校は存続します。

巻末エッセイ「浜の真珠」

校歌

うちの校歌はシャレしている。前妻はまるでドラックエスト序曲だ。歌詞にも「校名」や「我が母校」の連呼がない。昭和二三年の作品としては画期的だ。いつも転校生だった私は、どの学校の校歌も不思議とおぼろに覚えている。果が違えば風土も言葉も違う。口ずさむと今でも、楽しかったこと辛かったことがよみがえる。その土地土地の「におい」と共に…

♪浜の真砂に輝く真珠 いざ共に拾わん いざ共に…そう、真珠はこの浜に落ちていた。いや、君たち自身も真珠なのだ。先生方もまた真珠である。いざ共に拾わん。いざ共に輝かん。いざ。(海坊主)

